

死の四重奏

ショスタコーヴィチ晩年の弦楽四重奏曲のことではありません。

(1) 上半身肥満、(2) 耐糖能異常(糖尿病)、(3) 高中性脂肪血症(高脂血症)、(4) 高血圧を併せ持つ人は虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)の発症の可能性が高いということです。もちろん、この全てが揃っていなければ、心筋梗塞が起きないということではありません。



Y氏の場合

Y氏は50歳のバリバリの公務員でした。ある晩突然に胸が苦しくなり床にうずくまっていました。奥様は驚かれて直に救急車を呼び近くの総合病院にゆきましたが、夜中であったため、若い当直医しかおりませんでした。医師は、Y氏を診察し心電図検査を行いました。その結果、救急体制がとられている大学病院へと転送の決断をしました。Y氏は大学病院では緊急冠動脈造影と、冠動脈の再疎通術を受ける事になりました。その後、ICUで安静治療となりました。



そうです。Y氏の胸の痛みは「心筋梗塞」であったのです。

Y氏は、「私は今までの健康診断で高脂血症を指摘されてきましたが、毎年のように同じことを言われウンザリしておりました。まして、高脂血症では何の自覚症状もありませんから、治療を受ける必要性を感じなかったのです。他の問題といえば、軽度の高血圧とも言われてましたが、頭が痛くなるわけでもありませんし、、、ですから、病院とは縁遠かったのです。最近仕事が終わって、帰ってからの楽しみといったら食事、それも腹いっぱいなのです。寝るまで食べ続けていましたから、最近急激に太ってしまいました。それと、仕事中でもそうですがタバコの量も増えていましたね。」と、後日話してくれました。現在は無事に社会復帰しておりますが、一時は生命の危険にさらされていたのです。

彼の言葉の中には大変重要な事が含まれております。即ち、健康診断で異常を指摘されても、「慣行行事」「結果は例年通り」とすませて、自覚症状が無いから医師に相談もしなかった事です。誰の為の健康診断でしょうか？

健康診断で異常を指摘されたなら、早めに医師にご相談ください。

あなたと、そして大切なご家族のために。



予防と発見が最良の治療です。

ご相談窓口

信州会クリニック

東京都中央区日本橋堀留町 1-2-13 信州会ビル 3階

TEL 03-3662-1166